

## 寄贈図書リスト

天文学者の日々, 谷口義明, 四六判, 222頁, 1,400  
円+税, 創風社出版

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 電気通信大学 情報理工学研究科 教員

1. テニユア・トラック助教・1名
2. (1) 情報・通信工学専攻  
(2) 東京都調布市
3. 宇宙観測理工学
4. 電波天文学と工学の境界領域での研究教育
5. (1) 平成25年4月1日以降のできるだけ早い時期  
(2) 5年 (5年後の資格審査に通ると任期なしの准教授に昇任)
6. 博士の学位, その他
7. ①応募申請書類, ②論文別刷またはコピー, ③研究概要, ④研究計画概要, ⑤教育に関する抱負, ⑥意見を伺える方2名のお名前: 詳しくは以下の公募URLを参照。
8. 平成24年11月30日 (金) 16時 (日本時間) 必着
9. (1) 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1  
電気通信大学 情報・通信工学専攻 専攻長 鎌倉友男  
(2) 電気通信大学 情報・通信工学専攻 教授 柳澤正久  
Tel: 042-443-5198 e-mail: [yanagi@uec.ac.jp](mailto:yanagi@uec.ac.jp)
10. 公募の詳細は

[http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad\\_20120828.pdf](http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/ad_20120828.pdf)

## 平成25年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制特任研究員)

## (共通事項)

1. 年俸制特任研究員 募集人員は個別事項に記載
2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください。複数のプロジェクトへの併願は可能ですが, 希望する順を書いてください。最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は, プロジェクト間で重複しないように調整されます。
3. 募集分野は個別事項に記載
4. 勤務時間の半分までは, 所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで, 所属プロジェクト等の業務を行う義務があります。職務内容の詳細は個別事項に記載。
5. (1) 平成25年4月1日以降。ただし平成25年9月30日までには着任しなければなりません。  
(2) 原則として着任日より3年間ですが, 年度ごとに業績評価を受け契約を更新していただくこととなります。ただし, 平成16年4月以降, 既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合は, 通算勤務期間が5年を超えないように設定されます。再任は, 個別事項に述べられている場合を除き, 審査のうえ, 1回に限り可能です。ただし再任後の任期は半年以上2年以下で, 通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます。
6. 博士の学位を取得した者または平成25年3月31日までに取得見込みの者。なお, 平成25年9月30日までに取得見込みの者は, その旨を記載のこと。

7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト (査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書, (6) 推薦書を頼む場合は, 推薦者の名前 (2名以内). 推薦書は推薦者が応募締切りまでに提出先へ送ること.
  8. 平成24年11月30日(金) 正午必着
  9. 提出先メールアドレス, 問合せ先は個別事項に記載.
  10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること.
  11. 裁量労働制の常勤職員として月額30万円の給与および通勤手当, 年間50万円の研究費が支給されます. 着任のための旅費も支給します. 健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます. ボーナス, 退職金の支給はありません. 科学研究費補助金の応募資格があります.
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています. 詳しくは<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください.

#### (個別事項)

##### ○野辺山宇宙電波観測所

1. 1名
2. (2) 長野県南佐久郡南牧村野辺山 (ASTE用カメラ開発の場合, チリへの長期出張もありうる)
- 3, 4. 野辺山宇宙電波観測所の45m電波望遠鏡の技術開発, 観測運用または関連装置開発などを行いながら, 自身の観測的または開発的研究を推進する若手研究者を求めます. 特に, 45m鏡の新観測システム (新世代の受信機, 分光計, 解析ソフト) の開発やASTE用の連続波カメラの開発が重点課題です. 希望する業務があれば, 関連するこれまでの開発研究の経験とともに研究計画書に記述してください.
9. (1) 応募書類, 推薦書とも [nario.kuno@nao.ac.jp](mailto:nario.kuno@nao.ac.jp) へメール添付で送付のこと.
- (2) 〒384-1305  
長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2  
国立天文台野辺山宇宙電波観測所長  
久野成夫  
Tel: 0267-98-4331  
e-mail: [nario.kuno@nao.ac.jp](mailto:nario.kuno@nao.ac.jp)

##### ○ハワイ観測所

1. 若干名
2. (2) ハワイ観測所 (米国ハワイ州ヒロ市). ただし三鷹への出張による業務も複数回ありえます. ハワイ着任のための旅費が支給されます. (引越越し経費や家族呼び寄せなどの経費は支給されません.) 月額30万円の給与に, ハワイ勤務手当相当額が上乘せされます.
- 3, 4. ハワイ観測所では, すばる望遠鏡による共同利用を実施し, 多様な天文学研究を進めるとともに, 新装置の開発や将来計画の検討を進めています. すばる望遠鏡を用いた観測研究や開発研究を積極的に進める研究員を募集します. 研究員には, 自身の研究を進めるのみならず, すばる望遠鏡ならびにケック望遠鏡, ジェミニ望遠鏡等を用いた, ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただき, 観測所のサイエンティフィックアクティビティー向上の一端を担っていただきます. 加えて, マウナケア山頂 (標高4,000メートル) での業務も含め, 共同利用に関する観測所の業務の一部 (例えば戦略枠観測の推進) も担当していただきます. 研究計画書には, 自身の研究計画とともに, 観測所での研究活動や観測所業務に対する抱負も記述してください. 業務内容や待遇の詳細などは, 下記の問合せ先までお尋ねください.
9. (1) 応募書類, 推薦書とも [endo@naoj.org](mailto:endo@naoj.org) へメール添付で送付のこと. メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください.
- (2) Director Nobuo Arimoto  
Subaru Telescope, NAOJ  
650 North A'ohoku Place, Hilo Hawaii 96720  
U.S.A.  
Tel: 01-808-934-5900  
e-mail: [arimoto@naoj.org](mailto:arimoto@naoj.org)

##### ○チリ観測所

1. 募集人員: 若干名
2. (2) 東京都三鷹市, または, チリ共和国サンティアゴ市 (ただし, チリ, 日本, 欧州, 北米, 台湾等に出張の可能性があります). チリ共和国サンティアゴ市に赴任の場合には, 月額30万円の給与に, チリ勤務手当相当額が上乘せされます.
- 3, 4. ALMAは, 2011年9月よりアンテナ16台によるサイクル0科学運用を開始し, 2013年から

はアンテナ43台によるサイクル1が開始される予定です。ALMAなどを用いた研究を推進していただくために、研究員を募集します。研究員には、勤務時間の50%を用いて、ALMA、または、チリ観測所が運用しているASTE望遠鏡、Mopra 22 m電波望遠鏡などを用いて自身の研究を推進していただきます。勤務時間の残りの50%を業務にあて、これらの望遠鏡の運用の支援（共同利用支援）、ALMAの科学評価データの解析（論文執筆を含む）、または、ALMA、ASTEに関する開発（装置、ソフトウェア）、のうちの一つ以上を行っていただきます。

7. 応募書類は英文で書いてください。推薦書は必ず2通をお願いします。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp](mailto:tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp)へメール添付で送付のこと。  
応募書類の受理に関する問合せも同じ。
- (2) [k.tatematsu@nao.ac.jp](mailto:k.tatematsu@nao.ac.jp)

#### ○ひので科学プロジェクト

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. ひので科学プロジェクトでは、
  - (1) 次期太陽観測衛星「SOLAR-C」([http://hinode.nao.ac.jp/SOLAR-C/index\\_e.html](http://hinode.nao.ac.jp/SOLAR-C/index_e.html))の開発研究（関連する理論的研究を含む）、
  - (2) 太陽観測衛星「ひので」([http://hinode.nao.ac.jp/index\\_e.shtml](http://hinode.nao.ac.jp/index_e.shtml))を活用した観測的・理論的研究、
  - (3) 観測ロケット搭載のChromospheric Lyman-Alpha Spectro-Polarimeter (CLASP <http://hinode.nao.ac.jp/CLASP/>)の開発研究（関連する理論的研究を含む）、のいずれか（複数でも可）に積極的に参加する研究員を求めます。研究員にはこのほか、「ひので」の科学運用（観測）にも参加していただきます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [saku.tsuneta@nao.ac.jp](mailto:saku.tsuneta@nao.ac.jp)へメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-858 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 ひので科学プロジェクト長  
常田佐久  
Tel: 0422-34-3720  
e-mail: [saku.tsuneta@nao.ac.jp](mailto:saku.tsuneta@nao.ac.jp)

#### ○重力波プロジェクト

1. 2名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 重力波天文学の創成に向けた研究開発を意欲的に進める若手研究員を求めます。特に、大型低温重力波望遠鏡KAGRAの光学系・防振系・データ処理系の開発において、主要な役割を果たすことを期待します。また、将来の望遠鏡高感度化のための技術や、宇宙重力波望遠鏡DECIGO/DPF計画などの基礎研究も含め、重力波天文学の発展のための研究成果の創出も期待します。勤務時間のおよそ半分はプロジェクトとしての開発研究や院生等の指導・実験補助などの業務を行う義務を負っていただきます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [masaki.ando@nao.ac.jp](mailto:masaki.ando@nao.ac.jp)へメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 重力波プロジェクト推進室  
安東正樹  
Tel: 0422-34-3618  
e-mail: [masaki.ando@nao.ac.jp](mailto:masaki.ando@nao.ac.jp)

#### ○TMT推進室

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. TMT推進室では、次世代の超大型望遠鏡計画としてThirty Meter Telescope計画を国際協力のもとで推進しています。採用された研究員の方には、TMT計画への日本の主要な貢献である望遠鏡構造、主鏡製作、観測装置のいずれか（または複数）について、設計検討および開発の一部を担当していただきます。あるいは、TMT望遠鏡と観測装置の性能シミュレーションや高精度アストロメトリ観測法の検討などを担当していただきます。また、TMT計画の広報普及活動や対外交渉の補佐など推進室の日常的な業務の一部も担当していただきます。ただし、これらの業務に割く時間は勤務時間の半分を上限とします。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [m.iye@nao.ac.jp](mailto:m.iye@nao.ac.jp)へメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 TMT推進室長 家 正則  
Tel: 0422-34-3520  
e-mail: [m.iye@nao.ac.jp](mailto:m.iye@nao.ac.jp)

○天文データセンター

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3,4. 国立天文台天文データセンター (ADC) では、以下の分野について、研究員を募集します。  
(A) SMOKA (<http://smoka.nao.ac.jp>) の運用と開発  
ADCでは、すばる望遠鏡や岡山天体物理観測所188 cm望遠鏡、東京大学木曾観測所シュミット望遠鏡、東京工業大学MITSuME望遠鏡群、広島大学東広島天文台かなた望遠鏡の観測データを公開し、天文学研究や教育活動を推進しています。SMOKAの効率的運用を進めるとともに、データの品質評価や較正に積極的に取り組み、自らもそのデータを活用した天文学研究を進める意欲をもった若手研究者を求めます。また、2013年3月稼働開始予定の新計算機システムの上でSMOKAのさらなる機能強化や効率化を目指す開発にも携わっていただきます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [adc-chief@nao.ac.jp](mailto:adc-chief@nao.ac.jp) へメール添付で送付のこと。  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台天文データセンター長 大石雅寿  
Tel: 0422-34-3575  
e-mail: [masatoshi.ohishi@nao.ac.jp](mailto:masatoshi.ohishi@nao.ac.jp)

○先端技術センター

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3,4. 先端技術センターでは、主に可視光・赤外線天文学・電波天文学分野・重力波分野での開発研究を行っています。先端技術センターで現在実施されているプロジェクトのみならず、将来必須となる基礎技術の開発研究を行う研究員を、以下の分野で募集します。なお、開発的研究のみならず、それと関連する観測的研究を合わせて行うことも可能です。

- (A) 可視光赤外線天文学分野  
光赤外グループでは、すばる望遠鏡用の次世代観測装置開発およびTMT用装置のための基礎開発・技術検討を行っています。自らの科学目標をもち、TMT第一期観測装置に具体的な技術貢献ができる人を求めます。
- (B) ALMAバンド10  
ALMAバンド10 (787-950 GHz) 受信機の開発を進めています。テラヘルツ帯における超

伝導ヘテロダインミキサや入力光学系、マイクロ波帯低雑音増幅系などの次世代電波天文学用受信機に必須となる要素技術の開発を意欲的に進める若手研究員を求めます。

- (C) 電波カメラ  
宇宙マイクロ波背景放射やミリ波-テラヘルツ帯の広視野・高感度観測用の超伝導電波カメラの研究開発を行っています。超伝導デバイスなどの要素技術開発や検出器システムの開発、それを用いた観測を行う若手研究者を募集します。
- (D) KAGRA重力波望遠鏡  
大型低温重力波望遠鏡KAGRA (かぐら) のための光学・機械系の開発を行っています。特に、レーザー干渉計内で生じる散乱光や迷光の処理を行う補助光学サブシステムにおいて中心的な役割を果たすとともに、KAGRAによる科学的成果の創出に貢献できる研究者を求めます。
9. (1) 応募書類、推薦書とも [saku.tsuneta@nao.ac.jp](mailto:saku.tsuneta@nao.ac.jp) へメール添付で送付のこと。  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台先端技術センター  
(A) 宮崎 聡  
Tel: 0422-34-3871  
e-mail: [satoshi@subaru.naoj.org](mailto:satoshi@subaru.naoj.org)  
(B) 鶴沢佳徳  
Tel: 0422-34-3807  
e-mail: [y.uzawa@nao.ac.jp](mailto:y.uzawa@nao.ac.jp)  
(C) 関本裕太郎  
Tel: 0422-34-3784  
e-mail: [sekimoto.yutaro@nao.ac.jp](mailto:sekimoto.yutaro@nao.ac.jp)  
(D) 安東正樹  
Tel: 0422-34-3618  
e-mail: [masaki.ando@nao.ac.jp](mailto:masaki.ando@nao.ac.jp)

国立天文台研究教育職員  
(チリ観測所, チリ勤務)

1. 助教1名
2. (1) 国立天文台チリ観測所  
(2) チリ共和国サンチアゴ市
3. 電波天文学, 観測所運用
4. チリの国際ALMA観測所の国際職員として、観測所の科学運用 (観測スケジューリング, 観測の実行, 観測データの解析と品質管理, システム品質保証, キャリブレーションの実行, 当番天文学

者、プロポーザルの技術審査などを含む)の一部を分担するとともに、ALMAを用いた自身の科学研究を推進していただきます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期
- (2) 5年。任期終了時に審査のうえ任期なしの助教への移行の可能性あり。
6. 博士の学位を有するか、またはそれと同等以上の方
7. (1) 履歴書(研究歴も含める: 個人としての研究業績のほかに、多人数で行った研究・開発プロジェクトの場合は果たした業績を具体的に記入してください)
- (2) 研究論文リスト(査読論文とその他を区別し、共著の場合は役割分担を記すこと)
- (3) 職務に対する抱負と計画(必要があれば研究計画も記入してください)
- (4) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
- (5) 他薦の場合は推薦書のほかに、(1)~(4)の概要がわかる書類
8. 2012年11月15日(木)17時必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台台長 林 正彦
- (2) 国立天文台チリ観測所長 長谷川哲夫  
e-mail: [tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp](mailto:tetsuo.hasegawa@nao.ac.jp)
10. 封筒の表に「チリ観測所助教応募書類」と朱記し、簡易書留で郵送送付すること。直接持参も受け付けます。電子メールでの応募は受け付けません。選考は国立天文台運営会議で行います。
11. 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めています。詳しくは、<http://jouhoukoukai.nao.ac.jp/danjokyodo/>をご覧ください。

## 2013年東アジア中核天文台連合 (East Asia Core Observatories Association (EACOA)) フェロー

東アジア中核天文台連合(EACOA)は、研究協力を促進するために作られた東アジアの四つの主要な天文研究機関: 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天体物理学研究所の連合体です。

EACOAは優秀な人材を対象として、2012年からEACOA Fellowshipを創設しました。公募対象は天文学や天体物理学の分野で研究を行う博士号取得から5年以内の研究者です。任期は3年です(さらに2年(最長合計5年まで)延長が可能です)。自立した研究

者として、さらにEACOA各機関に属する研究者との連携を図りながら、研究活動を行っていただきます。身分はEACOAの機関の常勤職員扱いです。任期中に少なくとも二つ以上のEACOA機関(一機関につき最長でも1年間以上滞在)で研究していただくことが採用の条件です。

1. 研究員 若干名
2. (1) 受入れ研究者の所属による
- (2) 中国科学院国家天文台(紫金山天文台, 上海天文台を含む), 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天体物理学研究所のいずれか。本人の希望による。
3. 天文学, 天体物理学
4. 各自の研究や開発に専念
5. (1) 採用決定後なるべく早い時期
- (2) 3年(審査を経て、さらに2年(最長合計5年まで)延長可能)
6. 天文学や天体物理学を研究する学位取得者, 国籍は問わない, 英語での意思疎通が可能な方
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究計画, (4) 受入れ研究者の確認書, (5) 論文リスト
8. 2012年12月15日
9. (1) <https://www.asiaa.sinica.edu.tw/~EACOA/postdoc/application.php>
- (2) 自然科学研究機構国立天文台 国際連携室 [irc@nao.ac.jp](mailto:irc@nao.ac.jp)
10. 中国科学院国家天文台, 自然科学研究機構国立天文台, 韓国天文学宇宙科学研究院, 台湾中央研究院天文及天体物理学研究所のいずれかにEACOA Fellowの受入れ研究者が必要です。応募者は、応募する前に受入れ研究者を決めて、連絡を取ってください。

書類の提出はすべて英語です。日本語は受け付けられませんのでご注意ください。

以下のwebページを熟読のうえ、応募してください。

<http://www-irc.mtk.nao.ac.jp/~fumi/EACOA-E/index.php?News> <http://www-irc.mtk.nao.ac.jp/~fumi/EACOA-E/index.php?Fellow2013>

11. 月額US\$5,000の給与, 年間約US\$20,000の研究費, 旅費, 引越費用等が支払われます。審査にあたって追加書類の提出を求められることがあります。提出書類はお返ししません。採用審査はEACOA審査委員会が行います。結果は2013年3月末までに直接応募者に通知されます。

賞の推薦

山田科学振興財団 2013 年度研究援助候補  
推薦依頼

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2013年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2013年1月25日(金) 必着までに日本天文学会宛に提出して下さい。

1. 研究援助趣旨

- 1) 萌芽的・独創的研究
- 2) 新規研究グループで実施される研究
- 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
- 4) 国際協力研究

2. 援助対象期間

2013年10月～2015年3月

3. 受付期間

募集開始: 2012年10月1日

申込期限: 2013年2月28日

★2013年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙はすべて下記ホームページ上に添付されております。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

編集委員会より

天文月報発送につきまして

天文月報編集委員会では経費削減の一環として、発送方法の見直しを進めて参りました。その結果、来月発行の12月号より「第3種郵便物認可」を厳守しながら、発送手段をゆうメール便へ、現在の紙封筒からナイロン包装に変更することにいたします。万が一、ゆうメール便の利用に伴う不着、遅延などが生じた場合には学会事務所までお知らせください。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

柏川伸成 (天文月報編集長)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード: 雑誌コード (5桁の数字と) **vol98** (5文字) の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

柏川伸成(編集長), 市来浄興, 勝川行雄, 鈴木 建, 徂徠和夫, 竹井 洋, 野田寛大, 浜名 崇, 廣田朋也, 前野将太, 山崎 了

平成24年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献印刷社

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©社団法人日本天文学会2012年(本誌掲載記事は無断転載を禁じます)